

スポット展示

西宮の竜吐水

ポンプ式消火用具と安全遺産

2023.9.2~10.1

□竜吐水

江戸時代中期から明治時代にかけて用いられた消火用具で、広義では手押しポンプである。火災の多い江戸の町火消しから各地に普及した。近代以降は人力から動力に変わり、現在の消防用ポンプ車へと繋がる。竜が水を吐く姿を立てたものと言われ、雲竜水、登竜水、水鉄砲とも呼ばれた。西宮市内では、近世・近代の地域の中心であった社寺、村役人を務めていた旧家、酒造メーカー、学舎等で保存されてきた。

□安全遺産調査

市内で保存されていた竜吐水など消火用具を火災から地域を守ってきた安全遺産ととらえ、市民ボランティアとともに調査活動を行った。その成果は調査報告書として結実した。

本展示では、館蔵の竜吐水など消火用具類を公開するとともに、市民の調査活動を紹介する。

*『西宮の竜吐水—伝統的消防用具調査報告書—』
A5版 500円で販売中

西宮市立郷土資料館

西宮市川添町15-26

0798-33-1298 月曜休館 (10:00-17:00)

阪神「香櫨園駅」南徒歩6分/JR「さくら夙川駅」南西徒歩14分/

阪急「夙川駅」南徒歩17分

